



Programmed Maintenance Services Limited の買収

に関するテレフォンカンファレンス 要旨・Q&A

2017年7月14日（金）
パーソルホールディングス株式会社

本件の意義

プログラムド社が持つオーストラリアにおける規模・実績ともに強固な事業基盤を生かした事業展開により、アジア・パシフィック地域で最大級の総合人材サービスグループを目指す

パーソルグループは、グループビジョンである「人と組織の成長創造インフラへ」の実現に向け、日本国内のみならず、アジア・パシフィック地域における事業拡大を重点施策の一つとして推進しています。オーストラリアはアジア・パシフィック地域において日本に次ぐマーケット規模の国であるため、当社がアジア・パシフィック地域で最大級の総合人材サービスグループになるためには重要な地域であります。

プログラムド社はオーストラリアを中心に規模・実績ともに強固な事業基盤を有しており、今後も安定した収益を上げられる企業であると考えております。更に、当社がまだ進出していないメンテナンス事業においてもノウハウを有しているため、今後、パーソルグループが既に事業展開している日本および東南アジア、北アジアにてメンテナンス事業を展開することで、シナジーの創出も可能と考えております。

Q&A

Q. 取得価格 691 億の調達はどうするか？

A. 全て銀行借入で行う予定であります。

Q. 買収後のシナジーはどんなことが期待できるか？

A. プログラムド社はブルーカラーの派遣においてオーストラリア、ニュージーランド地域でトップシェアの優良企業です。同社は2015年に豪州人材サービストップ SKILLED Group を買収し、今後両社の M&A 効果が表れてくるものと考えております。まずはこの効果を確実なものとしていきたいと考えております。更にその後、すでにアジア・パシフィック地域において事業展開しているパーソルグループのホワイトカラーの派遣の強みと、プログラムド社のブルーカラーの強みを合わせてシナジーを創出して参りたいと考えております。



Q. EBITDA マージン改善の定量的な目標はあるか？

A. 今後プログラムド社の状況について詳細情報を収集し、精緻な目標設定・事業計画を策定するため、現段階での回答を控えさせていただきます。

Q. 今後の M&A にむけて増資を考えているか？

A. プログラムド社の取得資金については銀行借入で対応いたします。

Q. なぜ今買収するのか？

A. 現在当社は国内事業を中心に好調な業績をあげることが出来ております。当社の中計目標であるアジア・パシフィック地域において最大級の総合人材サービスグループになるためには、日本と同じく大きな市場であるオーストラリアで No.1 になることが目標達成において大事な道筋となります。国内事業が好調で投資余力がある今だからこそこの買収であると考えております。

Q. プログラムド社の 2016 年 3 月期および 2017 年 3 月期の売上伸長の要因は？

A. 2016 年 3 月期は Skilled 社 6 ヶ月分の買収効果が入っており、2017 年 3 月期は Skilled 社通期フル寄与の買収効果が入っております。

Q. プログラムド社の PMI と、現在進めている Kelly との JV の PMI は別で進めるのか？

A. マネジメントを分けて進める予定であります。

Q. 豪州の労働市場のマクロ状況および、競合状況はどうか？

A. 豪州は人口が増加しており、かつ人口構造もあまり変わらないため、安定的に成長していける市場であると考えております。競合状況については、プログラムド社はブルーカラー領域では、豪州 No.1、ホワイトカラー領域では今後更に伸ばしていけると考えております。また、メンテナンス領域においては、大型の受託案件についても大手と互角に戦える規模で、市場からもトッププレイヤーの一つとして認識されております。今後もメンテナンス領域は手堅く伸びていくことが予想されます。

Q. プログラムド社買収によって、IFRS 導入時期が延期になるか？

A. 国際会計基準の導入に向けた準備は引き続き進める予定であります。

Q. プログラムド社のマネジメントに対してガバナンスをどうきかせるか？

A. パーソルホールディングの取締役、かつ本買収の責任者である小澤をチェアマンとして現地に常駐させる予定であります。また、必要に応じてコミッティーを作り日本と現地とのコミュニケーション強化に努めたいと考えております。